



坂下東小学校だより

坂下東小学校

令和3年6月28日

No. 6

坂下ひがし

1学期も残りわずか

早いもので、1学期も1ヶ月を切ってしまいました。学習のまとめの時期となります。1学期に学んだことを振り返りながら、まとめをしているところです。運動会が延期になった分だけ学習の進度としてはどの学年も順調に内容を進められています。ただし、新型コロナウイルス感染防止のために制限された活動については、現在巻き返しを図っているところです。授業参観時には、子どもたちの授業の様子を見ていただけたらと思います。

その一方で、新型コロナウイルス感染が収まらず教育活動にもまだ制限がかけられています。現状としては、流行は押さえられています、いつまた再ピークを迎えるか分かりません。オリンピックが終われば、再びという予想も。ただし、12歳未満へのワクチン接種はありません。大人、青年が免疫を持ったとしても、子どもたちは免疫を獲得できるわけではないのです。感染リスクを抱えたまま子どもたちは学校に来ることになります。なので、決してゆるまず感染対策をいていかなければいけません。学校が感染対策を緩めるのは、最後の最後です。

夏休みに向けて

いよいよ夏休みが近づいてきました。今年の夏休みにはオリンピック、パラリンピックが予定されています。ぜひ、アスリートの共演を楽しんでいただければと思います。現場での体験は難しいと思いますが、メディアを通して見ることで子どもたちの感動はあるはずです。



さて、夏休みはお子さんを家庭に返す時期です。夏休みの過ごし方については家族の中で十分に話し合ってください。長期の休みは「家族の人が先生です。」子どもたちとたくさんふれあい、有意義な夏休みをお過ごしください。なお、過ごし方につきましては、生徒指導担当から「夏休みの過ごし方」が配付されますので参考にしてください。夏休み中の課外活動等はいりません。

水泳の指導について

暑い季節になり、水泳の指導が始まりました。子どもたちは楽しみにしている水遊び、水泳学習ですが、これも大きな制限がかけられています。

『文部科学省 学校の水泳授業における感染症対策について』

令和3年4月9日付け通知による（抜粋）

3. 授業中、児童生徒に不必要な会話や発声を行わないよう指導するとともに、プール内で密集しないよう、プールに一斉に大人数の児童生徒が入らないようにすること。プール内だけでなくプールサイドでも児童生徒の間隔は2 m以上を保つことができるようにすること。
4. 授業中、手をつないだり、体を支えたりするなど、児童生徒が密接する活動は避けること。例えば、バディシステムについても、児童生徒によるプールサイドでの人数確認は、事故防止の上で重要であるが、複数の児童生徒が組になる形態であるので、感染リスクに十分注意して運用すること。

とあるように、密集・密接対策が必要です。そのため一昨年度までのように水泳学習を進めることはできません。制限のもとで行うため、校内水泳記録会についてもやり方を変更せざるを得ません。ご理解をいただいた上で校内水泳記録会へおいでください。

また、夏休み中のプール指導については、当初は実施できないと想定していました。しかし、町教育委員会の指導により、感染対策を講じながら実施することとしました。ただし、今までのような形での実施はできません。児童が他人に触れない距離を確保した上で、行うようになります。自由にプールで遊ばせるようなこともありません。マスクを外していますので感染リスクの高い活動です。ご理解ご協力をお願いします。また、バスの定期の期間がありますので、7月26日～7月30日まではバス通の児童、8月2日～8月6日までが徒歩通学の児童というように人数を分けて密集を避けて行う予定です。

よい歯の教室



6月はよい歯の教室を行っています。歯科衛生士さんに学校に来ていただいて、授業をしてもらっています。それぞれの学年に合わせていろいろと準備をしていただき、観察したり、歯の染め出しをして磨き方のチェックをしたりしています。きちんと磨く習慣を身につけて何十年も使う自分の歯をたいせつにしたいです。

